

「特定非営利活動法人じゃんぷ」沿革

- 1985年11月 第2回「大田子育てのつどい」の障害児の分科会に参加した保育園児の保護者・保育者を中心に「発達の遅れを考える会」を発足。
- 1988年 学習会を重ねる中で放課後活動の必要性を感じ、取り組みを始める。
- 1992年5月 「発達の遅れを考える会」が運営母体となり、保護者の運営により大田区で初となる障害児のための学童保育「かたつむりクラブ」活動開始。
- 1995年4月 「かたつむりクラブ」の人数増加と子どもたちの成長に伴い、中高生向けの学童保育「ゆめクラブ」活動開始。
- 1998年4月 「自立支援プログラムSTEP」として成人期の余暇活動開始。
- 2002年4月 「自立センターじゃんぷ」として、ニーズに合わせて通所施設の送迎及び在宅見守り支援を開始。
- 2004年8月 東京都の認可があり「特定非営利活動法人じゃんぷ」設立。
- 2006年10月 「自立センターじゃんぷ」として行っていた事業を「特定非営利活動法人じゃんぷ」に移行。「サポートセンターじゃんぷ」と名称変更し、指定福祉サービス事業所となる。
- 2008年3月 「自立支援プログラムSTEP」を「特定非営利活動法人じゃんぷ」に移行。
- 2008年10月 グループホーム「V i v o」開始。
- 2012年4月 「かたつむりクラブ」「ゆめクラブ」を「特定非営利活動法人じゃんぷ」に移行。法人運営となる。
- 2015年4月 「かたつむりクラブ」「ゆめクラブ」を放課後デイサービス事業に移行